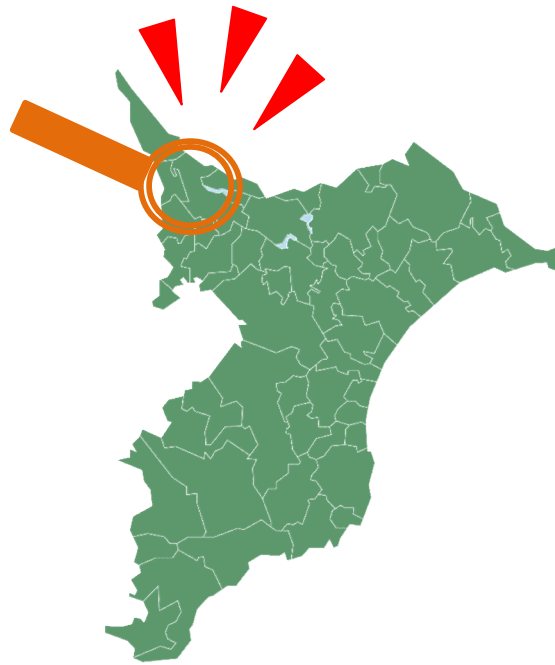


2026・6

# 柏の景気情報

令和8（2026）年6月の調査結果



柏商工会議所

The kashiwa Chamber Of Commerce and Industry

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所

〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18

T E L : 04-7162-3305

F A X : 04-7162-3323

U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>

E - m a i l : [info@kashiwa-cci.or.jp](mailto:info@kashiwa-cci.or.jp)

# 柏の景気情報 (令和8年6月の調査結果のポイント)

## ★調査結果のまとめ

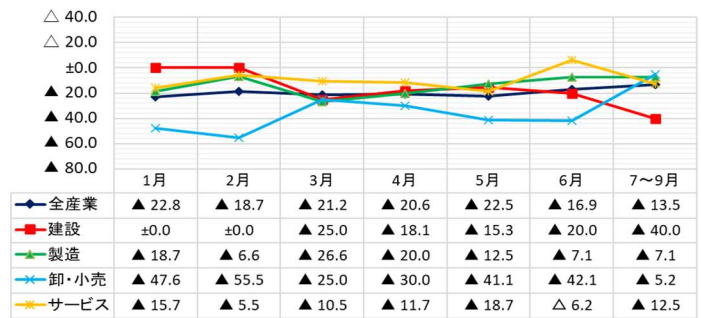
回答期間：令和8年6月15日～令和8年6月19日 調査対象：柏市内173事業所及び組合にヒアリング、回答数59

物価上昇や人手不足が引き続き企業活動を圧迫。賃上げや設備投資の動向、国内外の政策が景気回復への焦点となる。

6月の全産業合計の業況DI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲16.9（前月水準▲22.5）となりマイナス幅が5.6ポイント縮小した。

各業界、物価上昇等のコスト増が企業活動を圧迫し、収益環境は依然として厳しい。価格転嫁や生産性向上への対応が急務となっている。国内外の経済政策や個人消費の回復が、今後の景気持ち直しを左右する重要な要因となりそう。

柏の景気情報・産業別業況DI



## ★業種別の動向

前月と比べたDI値の動き 改善 横ばい 悪化



建設業

原油高騰に伴う建設資材の高騰が引き続き課題。建設業に従事したい若手人材の確保が今後の課題。（土木工事業）高くても国産いぐさの高級畳表で表替えがよいというお客様となるべく低価格でというお客様と二極化が進んでいる気がします。（畳工事請負・畳製造販売業）



製造業

医療品容器の受注は順調だがホルムズ海峡閉鎖の影響でナフサ不足、材料価格が爆上がり。化粧品容器の受注は製造のシェアを中国韓国に奪われ日本は後手になり、一向に新企画の案件が来ない。（プラスチック加工）レジン原料の素材の高騰により、これに由来する資材仕入先の変更が発生。コスト増加が見込まれるが、今のところ、生産計画に支障なし。本年秋以降に向けて従業員の増員を計画（酒類製造業）



卸・小売業

5月は順調に推移して予定通りの業績を残せたが、6月3日（水）の台風より気温上がらず衣料と住居余暇の夏物が大きく落ち込んでいる。その為、全体に客数が減少して食品も含めて苦戦している。また、去年の米騒動から一年経過して米の反動が非常に大きく、カバー策は講じているが穴埋めはできていない。原油やナフサ不足、それに伴うゴミ袋などの品不足や今後の石油由来商品への価格転嫁、電気代の値上など、消費が広がる要素は無い。（大型小売店）人手不足の影響が営業時間や定休日の見直しに表れてきた。（その他の各種商品小売業）



サービス業

最近、関東での地震活動や火山活動も危惧される事から事業継続に向けた資金や行動計画の確認に常日頃から気を付けたい。公共事業などの業状は概ね不変であるが、全体的なコストが上昇傾向にある事に注視しなければいけない。（地質調査・地質コンサルタント）相変わらず、資材や人件費の高騰により建築費値上がりが続いている。また住宅ローン金利の上昇により購入希望のお客様の動きが鈍い。（不動産管理業）

## ★全国の商工会議所早期景気観測調査（CCI-LOBO）との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲16.9に対し、「CCI-LOBO」が▲22.2で、柏のほうが全国平均と比較して5.3ポイント上回っている。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、製造業、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業である。

# 今月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI - LOBOとの比較

| 景気天気図         |              |              |              |              |              |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | 特に好調<br>DI ≥ 50                                                                               | 好調<br>50 > DI ≥ 25                                                                            | まあまあ<br>25 > DI ≥ 0                                                                           | 不振<br>0 > DI ≥ ▲25                                                                              | 極めて不振<br>▲25 > DI                                                                               |
| <b>業況DI</b>   | 全産業                                                                                           | 建設                                                                                            | 製造                                                                                            | 卸小売                                                                                             | サービス                                                                                            |
| 柏の景気          | <br>▲ 16.9   | <br>▲ 20.0   | <br>▲ 7.1    | <br>▲ 42.1   | <br>6.2      |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 22.2   | <br>▲ 22.7   | <br>▲ 20.6   | <br>▲ 29.2   | <br>▲ 17.5   |
| <b>売上DI</b>   | 全産業                                                                                           | 建設                                                                                            | 製造                                                                                            | 卸小売                                                                                             | サービス                                                                                            |
| 柏の景気          | <br>▲ 16.9   | <br>▲ 50.0   | <br>▲ 7.1    | <br>▲ 31.5   | <br>12.5     |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 3.5    | <br>▲ 16.5   | <br>2.2      | <br>▲ 6.8    | <br>0.4      |
| <b>採算DI</b>   | 全産業                                                                                           | 建設                                                                                            | 製造                                                                                            | 卸小売                                                                                             | サービス                                                                                            |
| 柏の景気          | <br>▲ 15.2  | <br>▲ 40.0  | <br>± 0.0   | <br>▲ 31.5  | <br>6.2     |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 20.6 | <br>▲ 23.9 | <br>▲ 18.4 | <br>▲ 24.1 | <br>▲ 20.9 |
| <b>仕入単価DI</b> | 全産業                                                                                           | 建設                                                                                            | 製造                                                                                            | 卸小売                                                                                             | サービス                                                                                            |
| 柏の景気          | <br>▲ 74.5 | <br>▲ 80.0 | <br>▲ 78.5 | <br>▲ 78.9 | <br>▲ 62.5 |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 73.6 | <br>▲ 84.1 | <br>▲ 74.7 | <br>▲ 72.2 | <br>▲ 68.7 |
| <b>従業員DI</b>  | 全産業                                                                                           | 建設                                                                                            | 製造                                                                                            | 卸小売                                                                                             | サービス                                                                                            |
| 柏の景気          | <br>18.6   | <br>40.0   | <br>14.2   | <br>10.5   | <br>18.7   |
| CCI-LOBO      | <br>19.1   | <br>37.2   | <br>12.9   | <br>13.8   | <br>21.9   |
| <b>資金繰りDI</b> | 全産業                                                                                           | 建設                                                                                            | 製造                                                                                            | 卸小売                                                                                             | サービス                                                                                            |
| 柏の景気          | <br>▲ 13.5 | <br>▲ 20.0 | <br>▲ 14.2 | <br>▲ 21.0 | <br>± 0.0  |
| CCI-LOBO      | <br>▲ 12.8 | <br>▲ 6.5  | <br>▲ 13.5 | <br>▲ 20.3 | <br>▲ 12.0 |

# CCI-LOBO

## 商工会議所早期景気観測(6月速報)

調査期間：2026年6月15日～19日

調査対象：全国の326商工会議所が2,455企業にヒアリング調査を実施

### 全国の業況

業況DIは、中東情勢の影響が一部軽減し改善  
先行きは期待感うかがえるも、課題多く慎重な  
見方

全産業合計の業況DIは、▲22.2(前月比▲2.1ポイント)

引き続き全業種で中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・仕入価格の上昇等の影響が見られているが、中東情勢の緊張緩和に向けた動きや政府による対応の効果もあつてか、一部事業者からは供給再開や代替品の提供等による影響の軽減が指摘されている。こうした中、建設業・製造業・卸売業で設備投資需要がけん引する形で引き合いが見られたほか、小売業で価格転嫁に進展が見られ、改善した。長引く物価高や円安の影響で消費者の節約志向が高まっている。大型連休は近場の観光施設や飲食店を中心に好調だったが、その後は勢いを欠いている。

自治体による物価高対策の

効果や夏のボーナスへの期待感が聞かれたものの、長引く物価高や円安の影響で消費マインドは弱めの動きが続いている。

先行き見通しDIは、▲3.2(今月比▲1.0ポイント)

自治体による物価高対策や高水準での賃上げが下支えとなっているほか、中東情勢の戦闘終結に対する合意により、段階的な事態の収束が期待される

一方、足もとの仕入価格の上昇が夏ごろに物価に波及するとの見通しもあり、今後の消費マインドへの悪影響も懸念される。また、国際情勢が不安定化する中、コスト高とその分の価格転嫁や人手不足等、依然として経営課題は山積しており、先行きは慎重な見方となっている。

### 【建設業】

「中東情勢の影響に伴う資材価格の上昇や調達困難化の影響が継続しており、一部の同業他社からは受注の減

少や工期の延期・縮小等が聞かれるが、全体としては設備投資需要がけん引する形で受注に持ち直しの動きがみられる」(一般工事業)

「ナフサショックにより当社が使用する資材の約9割が調達できなくなった」(塗装工事業)

### 【製造業】

「足もとで資材の調達困難化に解消の兆しが見られ始めている。政府のアナウンス効果で企業の不安感が多少和らいだ印象がある」(窯業・土石製品製造業)

「猛暑予想や省エネ基準改定前の安価な現行基準品に対する駆け込み需要を背景に、エアコン関連の受注が改善傾向にある。人手不足対策として搬送ロボット

やAIの導入による生産性向上を図っている」(電気機械器具製造業)

### 【卸売業】

「AI需要の拡大等から世界

的に工作機械の需要が増加しており活況である」(機械器具卸売業)

「中東情勢の影響に落ち着きが見られ、一部商品については出荷が再開されたほか、代替品の提案も増えてきた。しかしながら、仕入価格の上昇は継続してお

り、販売先に価格改定を交渉している」(包装資材卸売業)

### 【小売業】

「自治体による物価高対策のキャンペーン施策の効果が大きく、一時的であるが売上が大幅に改善した」(総合スーパー)

「メーカーからの値上げ要請を踏まえ、全品1～2割程度の価格転嫁を実施する。売上は拡大が見込まれるが、衣料品の値上げがどこまで受け入れられるか不安もある」(衣料品小売業)

### 【サービス業】

「入手困難になっていたオイル類の調達環境は改善されつつあるが、価格高騰は継続して

いる」(自動車整備業)

「足もとで地元客による部活やクラブチームの宴会予約が増加しているため、10年ぶりに一部料金の値上げを実施した。今後、売上・採算の改善が期待される」(飲食店)

### 全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

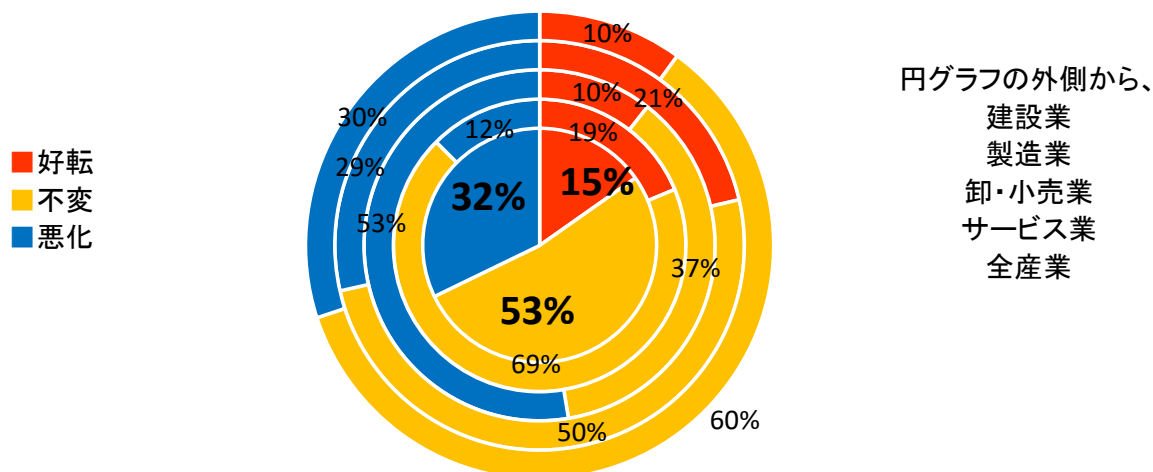
|     | 全産業   | 建設    | 製造    | 卸売    | 小売    | サービス  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1月  | ▲17.9 | ▲15.2 | ▲17.2 | ▲23.8 | ▲25.1 | ▲12.1 |
| 2月  | ▲16.8 | ▲13.6 | ▲13.6 | ▲23.5 | ▲24.8 | ▲13.0 |
| 3月  | ▲20.0 | ▲15.5 | ▲19.1 | ▲30.2 | ▲25.1 | ▲15.1 |
| 4月  | ▲21.9 | ▲17.7 | ▲23.0 | ▲23.1 | ▲23.5 | ▲8.6  |
| 5月  | ▲24.3 | ▲24.8 | ▲22.6 | ▲30.8 | ▲30.7 | ▲18.0 |
| 6月  | ▲22.2 | ▲22.7 | ▲20.6 | ▲24.5 | ▲29.2 | ▲17.5 |
| 見通し | ▲23.2 | ▲21.4 | ▲21.0 | ▲30.9 | ▲26.8 | ▲20.7 |

# 令和8年（2026年）6月の動向

## 【業況について】

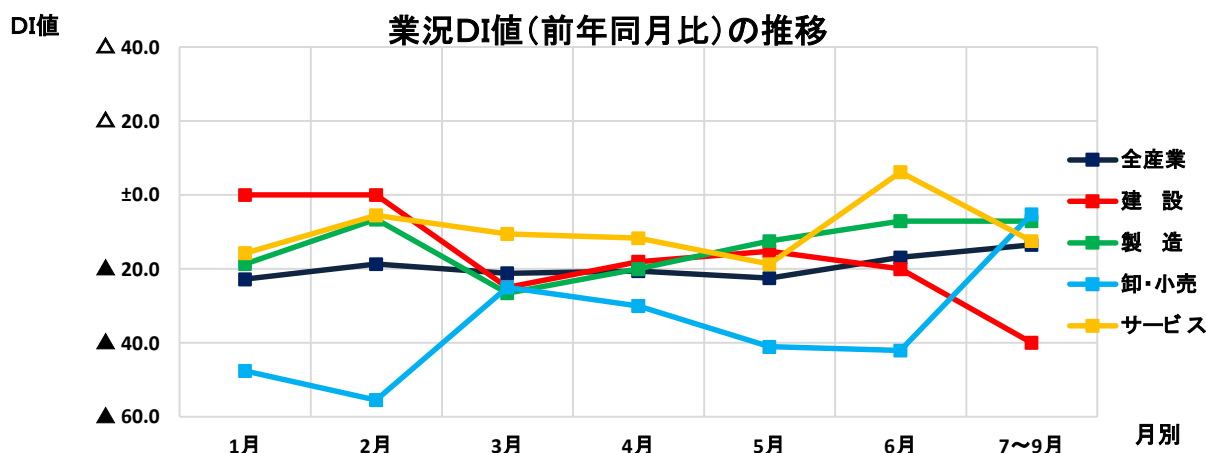
- 6月の全産業合計のDI値（前年同月比ベース、以下同じ）は、▲16.5（前月水準▲22.5）となり、マイナス幅が6ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月（7月から9月）の先行き見通しについては、全産業では、▲13.5（前月水準▲24.1）となり、マイナス幅が10.6ポイント縮小した。

## 前年同月と比較した今月の業況について



## 業況DI値（前年同月比）の推移 ※DI＝「好転」の回答割合－「悪化」の回答割合

|      | 令和8年   |        |        |        |        |        | 先行き見通し           |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------------------|
|      | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7～9月（ 6～8月 ）     |
| 全産業  | ▲ 22.8 | ▲ 18.7 | ▲ 21.2 | ▲ 20.6 | ▲ 22.5 | ▲ 16.9 | ▲ 13.5（ ▲ 24.1 ） |
| 建設   | ±0.0   | ±0.0   | ▲ 25.0 | ▲ 18.1 | ▲ 15.3 | ▲ 20.0 | ▲ 40.0（ ▲ 38.4 ） |
| 製造   | ▲ 18.7 | ▲ 6.6  | ▲ 26.6 | ▲ 20.0 | ▲ 12.5 | ▲ 7.1  | ▲ 7.1（ ▲ 18.7 ）  |
| 卸・小売 | ▲ 47.6 | ▲ 55.5 | ▲ 25.0 | ▲ 30.0 | ▲ 41.1 | ▲ 42.1 | ▲ 5.2（ ▲ 17.6 ）  |
| サービス | ▲ 15.7 | ▲ 5.5  | ▲ 10.5 | ▲ 11.7 | ▲ 18.7 | △ 6.2  | ▲ 12.5（ ▲ 25.0 ） |

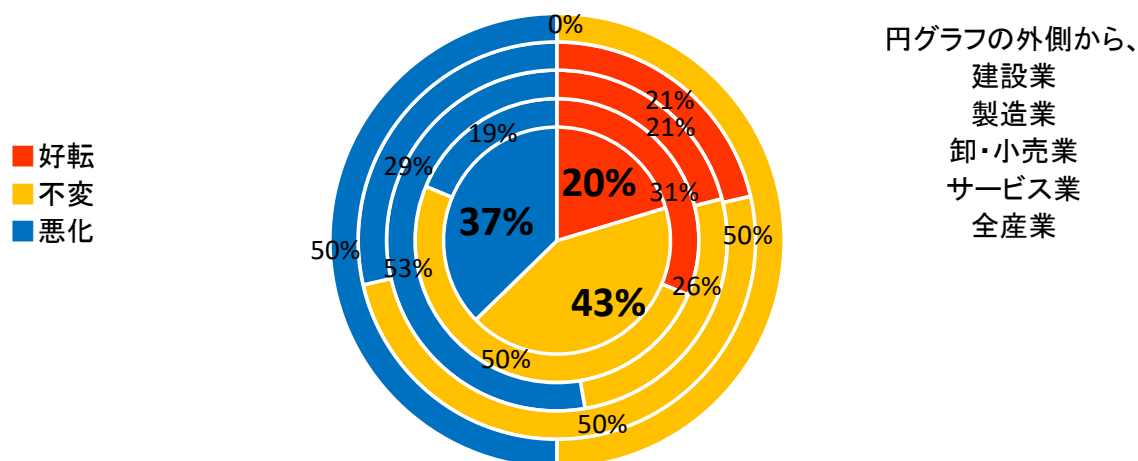


## 【売上について】

○ 6月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲16.9(前月水準▲14.5)となり、マイナス幅2.4ポイント拡大した。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、±0(前月水準▲11.2)となり、マイナス幅が11.2ポイント縮小した。

### 前年同月と比較した今月の売上について

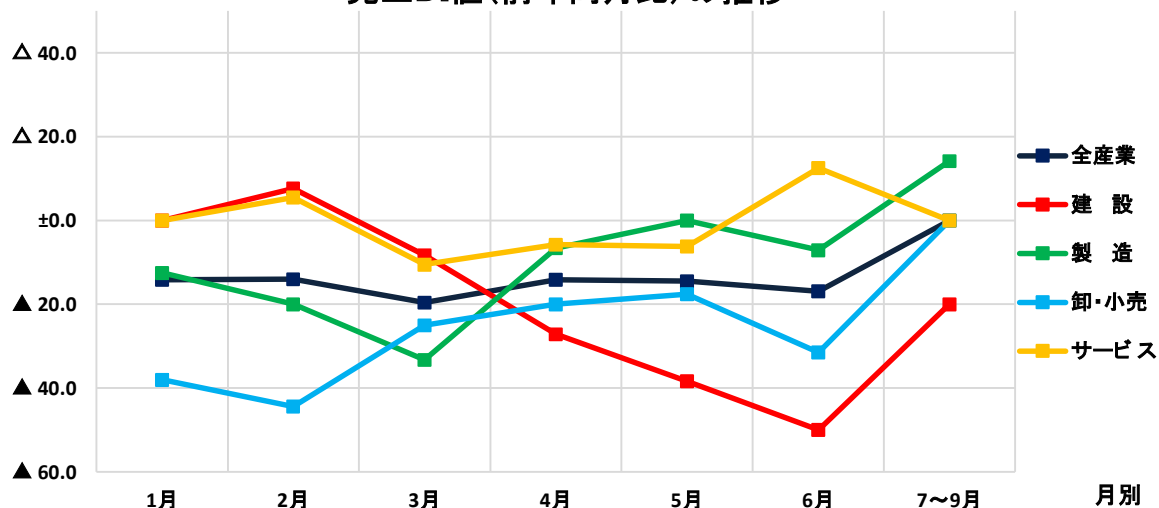


### 売上D I 値(前年同月比)の推移 ※DI=「増加」の回答割合-「減少」の回答割合

|      | 令和8年<br>1月 | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 先行き見通し<br>7~9月 ( 6~8月 ) |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業  | ▲14.2      | ▲14.0 | ▲19.6 | ▲14.2 | ▲14.5 | ▲16.9 | ±0.0 ( ▲11.2 )          |
| 建設   | ±0.0       | △7.6  | ▲8.3  | ▲27.2 | ▲38.4 | ▲50.0 | ▲20.0 ( ▲23.0 )         |
| 製造   | ▲12.5      | ▲20.0 | ▲33.3 | ▲6.6  | ±0.0  | ▲7.1  | △14.2 ( ▲18.7 )         |
| 卸・小売 | ▲38.0      | ▲44.4 | ▲25.0 | ▲20.0 | ▲17.6 | ▲31.5 | ±0.0 ( ▲5.8 )           |
| サービス | ±0.0       | △5.5  | ▲10.5 | ▲5.8  | ▲6.2  | △12.5 | ±0.0 ( ±0.0 )           |

DI値

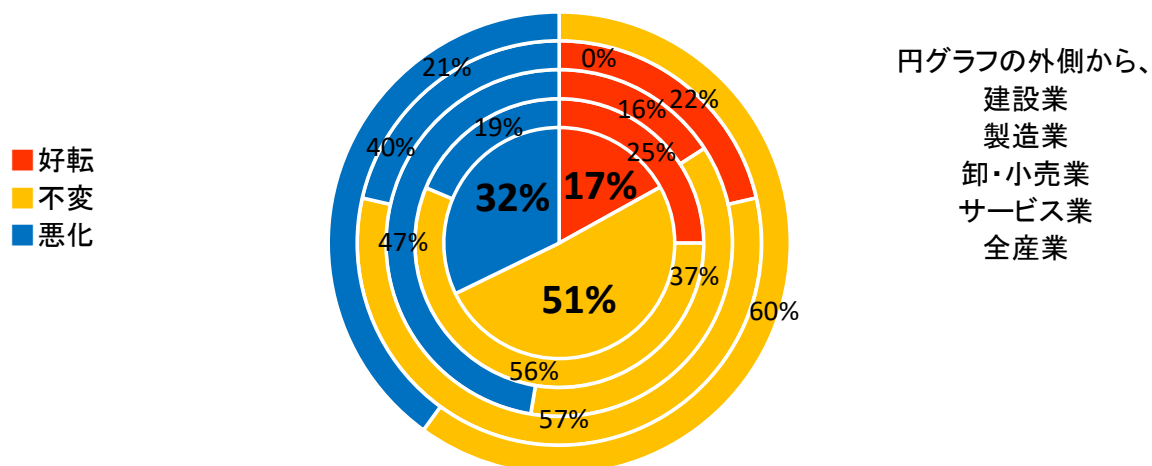
### 売上DI値(前年同月比)の推移



## 【採算について】

- 6月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲15.2 (前月水準▲22.5) となり、マイナス幅が7.3ポイント縮小した。
- 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲11.8 (前月水準▲22.5) であり、マイナス幅が10.7ポイント縮小した。

### 前年同月と比較した今月の採算について

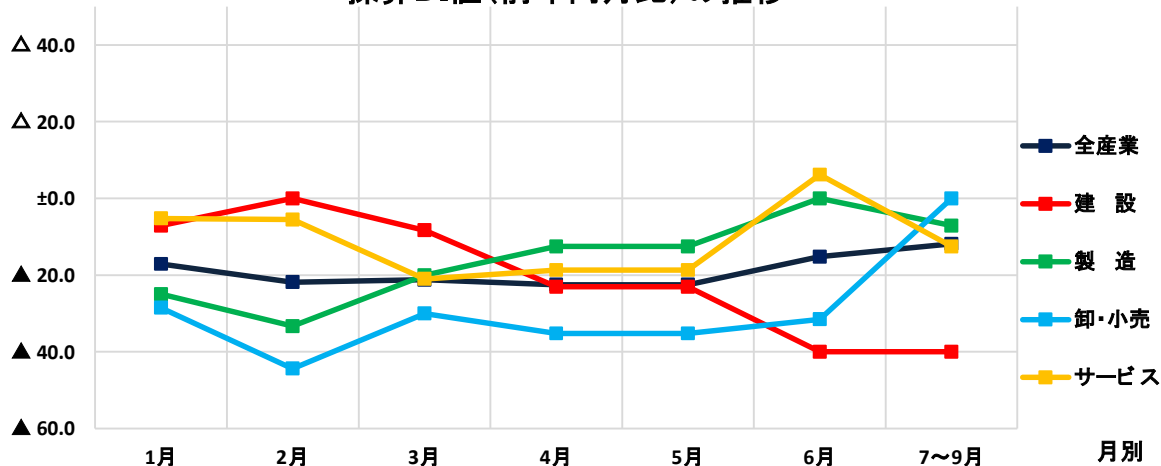


### 採算D I 値 (前年同月比) の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

|         | 令和8年<br>1月 | 令和8年<br>2月 | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 先行き見通し<br>7~9月 ( 6~8月 ) |
|---------|------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業     | ▲17.1      | ▲21.8      | ▲21.2 | ▲22.5 | ▲22.5 | ▲15.2 | ▲11.8 ( ▲22.5 )         |
| 建 設     | ▲7.1       | ±0.0       | ▲8.3  | ▲23.0 | ▲23.0 | ▲40.0 | ▲40.0 ( ▲38.4 )         |
| 製 造     | ▲25.0      | ▲33.3      | ▲20.0 | ▲12.5 | ▲12.5 | ±0.0  | ▲7.1 ( ▲31.2 )          |
| 卸・小売    | ▲28.5      | ▲44.4      | ▲30.0 | ▲35.2 | ▲35.2 | ▲31.5 | ±0.0 ( ▲11.7 )          |
| サ ー ビ ス | ▲5.2       | ▲5.5       | ▲21.0 | ▲18.7 | ▲18.7 | △6.2  | ▲12.5 ( ▲12.5 )         |

### DI値

### 採算DI値(前年同月比)の推移



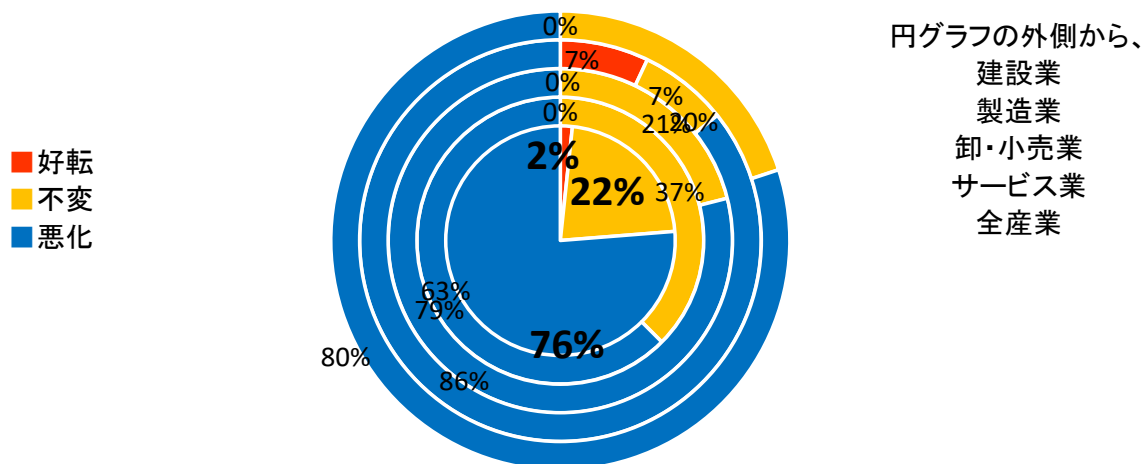


## 【仕入単価について】

○ 6月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲ 6 1. 0 (前月水準▲ 7 9. 0) となり、マイナス幅 1 8. 0 ポイント縮小した。

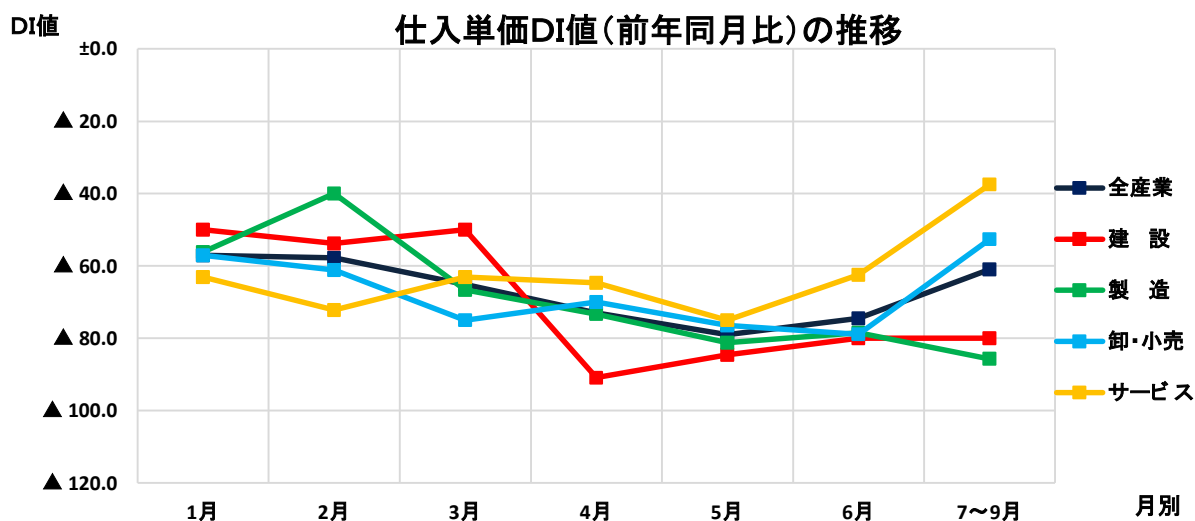
○ 向こう 3 ヶ月 (7月から9月) の先行き見通しについては、全産業では、▲ 6 1. 0 (前月水準▲ 7 0. 9) となり、マイナス幅が 9. 9 ポイント縮小した。

### 前年同月と比較した今月の仕入単価について



### 仕入単価D I 値 (前年同月比) の推移 ※DI=「下落」の回答割合-「上昇」の回答割合

|       | 令和8年<br>1月 | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 先行き見通し<br>7~9月 ( 6~8月 ) |
|-------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|
| 全産業   | ▲ 57.1     | ▲ 57.8 | ▲ 65.1 | ▲ 73.0 | ▲ 79.0 | ▲ 74.5 | ▲ 61.0 ( ▲ 70.9 )       |
| 建 設   | ▲ 50.0     | ▲ 53.8 | ▲ 50.0 | ▲ 90.9 | ▲ 84.6 | ▲ 80.0 | ▲ 80.0 ( ▲ 69.2 )       |
| 製 造   | ▲ 56.2     | ▲ 40.0 | ▲ 66.6 | ▲ 73.3 | ▲ 81.2 | ▲ 78.5 | ▲ 85.7 ( ▲ 68.7 )       |
| 卸・小売  | ▲ 57.1     | ▲ 61.1 | ▲ 75.0 | ▲ 70.0 | ▲ 76.4 | ▲ 78.9 | ▲ 52.6 ( ▲ 76.4 )       |
| サービ ス | ▲ 63.1     | ▲ 72.2 | ▲ 63.1 | ▲ 64.7 | ▲ 75.0 | ▲ 62.5 | ▲ 37.5 ( ▲ 68.7 )       |

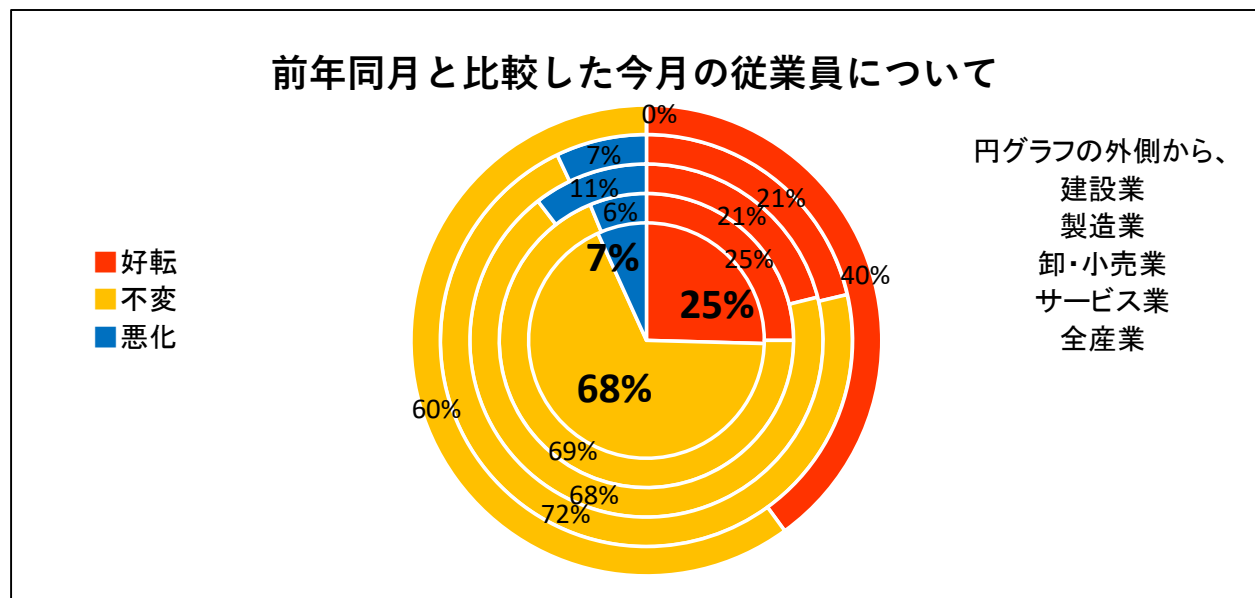




## 【従業員について】

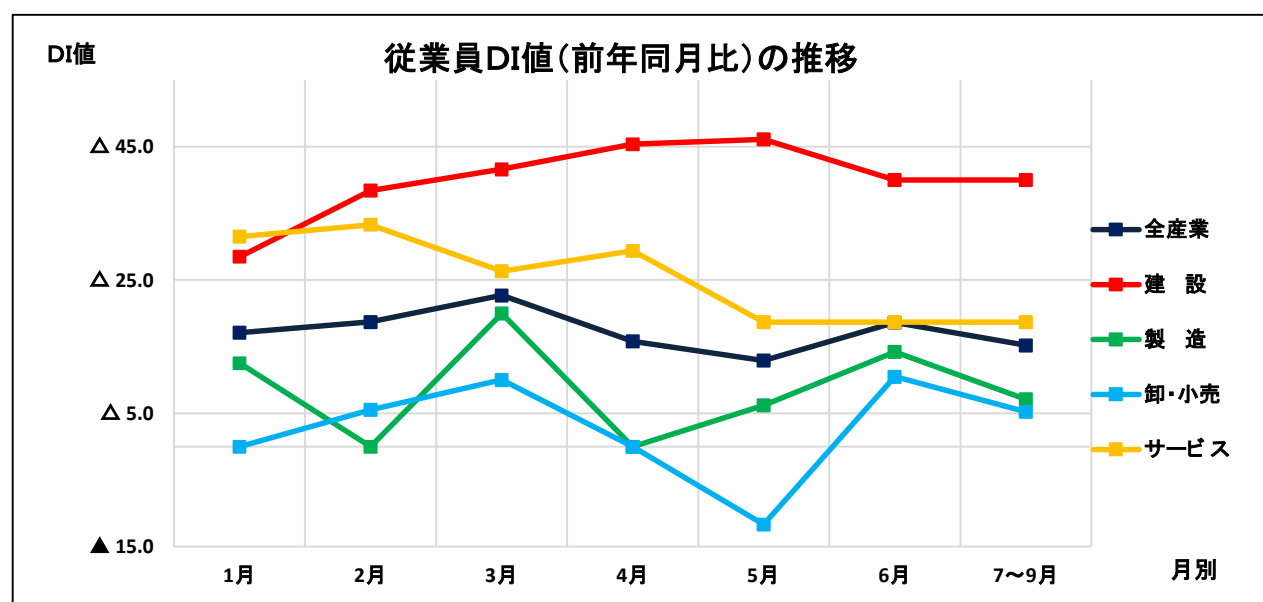
○6月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△18.6 (前月水準△12.9) となり、プラス幅が5.7ポイント拡大した。

○向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、△15.2 (前月水準△12.9) となり、プラス幅2.3ポイント拡大する見通しである。



**従業員D I 値 (前年同月比) の推移** ※DI=「過剰」の回答割合-「不足」の回答割合

|       | 令和8年   |        |        |        |        |        | 先行き見通し            |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------|
|       | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7~9月 ( 6~8月 )     |
| 全産業   | △ 17.1 | △ 18.7 | △ 22.7 | △ 15.8 | △ 12.9 | △ 18.6 | △ 15.2 ( △ 12.9 ) |
| 建 設   | △ 28.5 | △ 38.4 | △ 41.6 | △ 45.4 | △ 46.1 | △ 40.0 | △ 40.0 ( △ 46.1 ) |
| 製 造   | △ 12.5 | ± 0.0  | △ 20.0 | ± 0.0  | △ 6.2  | △ 14.2 | △ 7.1 ( ± 0.0 )   |
| 卸・小売  | ± 0.0  | △ 5.5  | △ 10.0 | ± 0.0  | ▲ 11.7 | △ 10.5 | △ 5.2 ( ± 0.0 )   |
| サービ ス | △ 31.5 | △ 33.3 | △ 26.3 | △ 29.4 | △ 18.7 | △ 18.7 | △ 18.7 ( △ 12.5 ) |

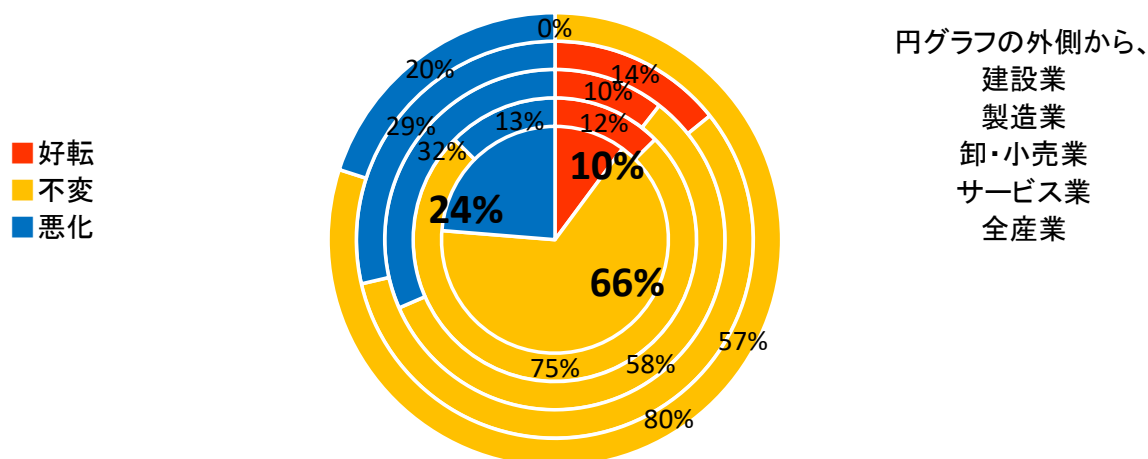


## 【資金繰りについて】

○ 6月の全産業合計のD I 値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲13.5 (前月水準▲14.5) となり、マイナス幅が1.0ポイント縮小した。

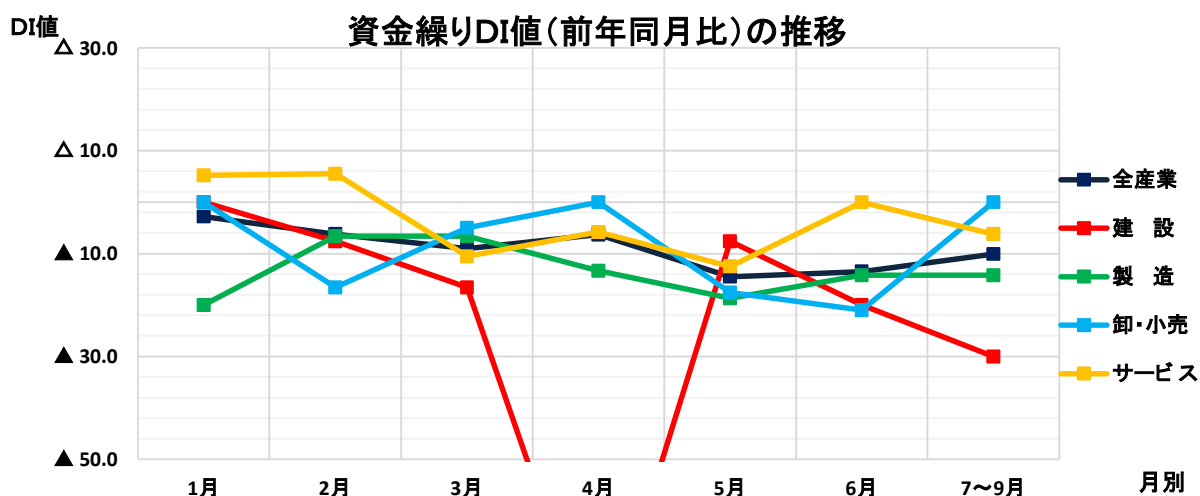
○ 向こう3ヶ月(6月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲10.1 (前月水準▲12.9) となり、マイナス幅が2.8ポイント縮小する見通しである。

### 前年同月と比較した今月の資金繰りについて



### 資金繰りD I 値 (前年同月比) の推移 ※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合

|       | 令和8年   |        |        |        |        |        | 先行き見通し            |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------|
|       | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7~9月 ( 6~9月 )     |
| 全産業   | ▲ 2.8  | ▲ 6.2  | ▲ 9.0  | ▲ 6.3  | ▲ 14.5 | ▲ 13.5 | ▲ 10.1 ( ▲ 12.9 ) |
| 建 設   | ±0.0   | ▲ 7.6  | ▲ 16.6 | ▲ 90.0 | ▲ 7.6  | ▲ 20.0 | ▲ 30.0 ( ▲ 23.0 ) |
| 製 造   | ▲ 20.0 | ▲ 6.6  | ▲ 6.6  | ▲ 13.3 | ▲ 18.7 | ▲ 14.2 | ▲ 14.2 ( ▲ 25.0 ) |
| 卸・小売  | ±0.0   | ▲ 16.6 | ▲ 5.0  | ±0.0   | ▲ 17.6 | ▲ 21.0 | ±0.0 ( ±0.0 )     |
| サービ ス | △ 5.2  | △ 5.5  | ▲ 10.5 | ▲ 5.8  | ▲ 12.5 | ±0.0   | ▲ 6.2 ( ▲ 6.2 )   |

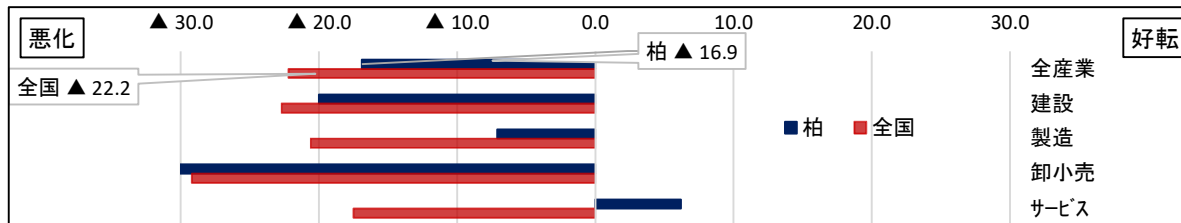


# 全国（CCI-LOBO）との比較

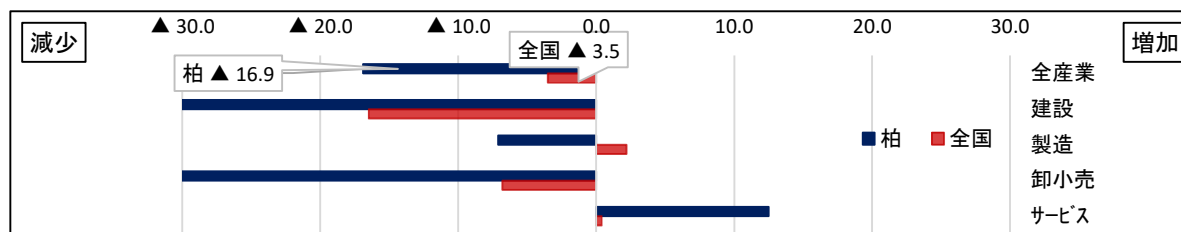
## 【CCI-LOBOとは】

日本商工会議所が各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」を全国ベースで毎月調査し、その結果を集計・公表するものです

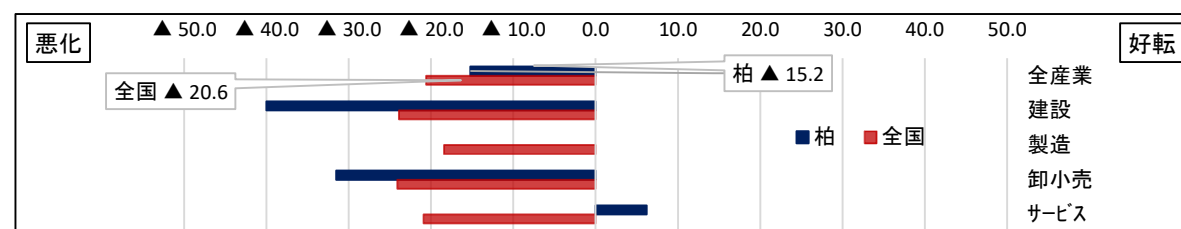
## 【業況D I】



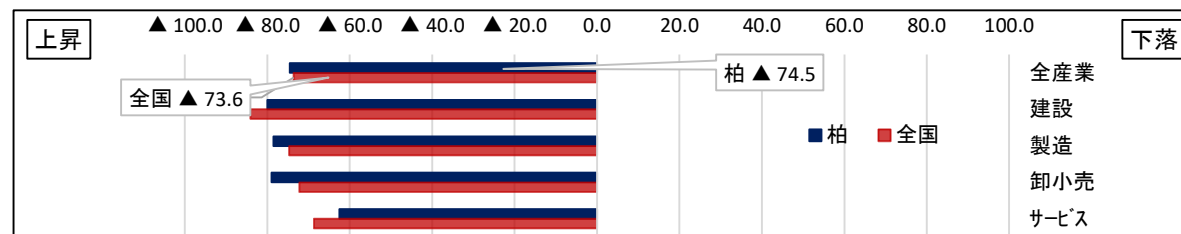
## 【売上D I】



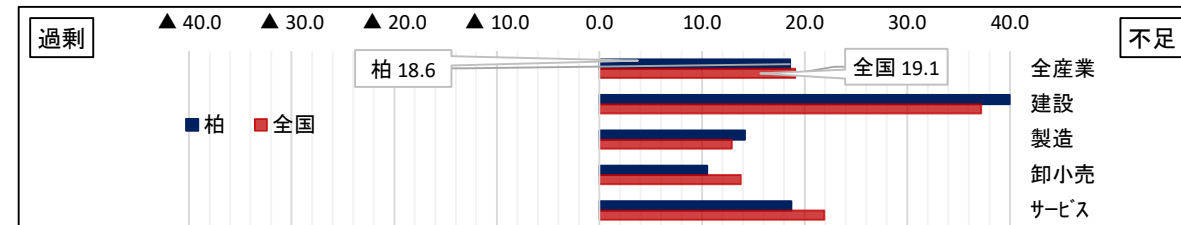
## 【採算D I】



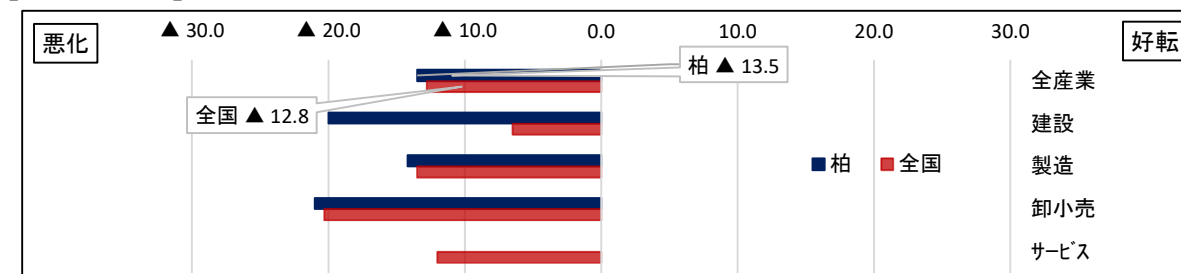
## 【仕入単価D I】



## 【従業員D I】



## 【資金繰りD I】



## 【業種別】 業界内トピックス

| 業種別   | 概 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 業種             |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 建設業   | 原油高騰により建設資材の高騰が引き続き課題。<br>建設業への若手人材の確保が今後の課題。                                                                                                                                                                                                                                                               | 土木工事業          |
|       | 高くても国産いぐさの高級畳表で表替えがいいというお客様となるべく低価格でという二極化が進んでいる気がします。                                                                                                                                                                                                                                                      | 畳工事請負・畳製造販売業   |
| 製造業   | 医療品容器の受注は順調だがホルムズ海峡閉鎖の影響でナフサ不足、材料価格が爆上がり。化粧品容器の受注は製造のシェアを中国韓国に奪われ日本は後手に回りっぱなし、一向に新企画の案件が来ない。                                                                                                                                                                                                                | プラスチック加工       |
|       | レジン原料の素材の高騰により、これに由来する資材仕入先の変更が発生。コスト増加が見込まれるが、今のところ、生産計画に支障なし。本年秋以降に向けて従業員の増員を計画中。                                                                                                                                                                                                                         | 酒類製造業          |
| 卸・小売業 | 5月は順調に推移して予定通りの業績を残せたが、6月3日(水)の台風より気温上がらず衣料と住余の夏物が大きく落ち込んでいる。<br>その為、全体に客数が減少して食品も含めて苦戦している。<br>また、昨年のも米騒動から一年経過して米の反動が非常に大きく、カバー策は講じているいるが穴埋めはできていない。<br>原油やナフサ不足、それに伴うゴミ袋などの品不足や今後の石油由来商品への価格転嫁、電気代の値上など、消費が広がる要素は無い。<br>エルニーニョ現象で冷夏の可能性もあるが、マスコミ等の長期予想は例年通りの気温とでているが信憑性はない。<br>夏物を前倒し少しでも消化を上げるために動いている。 | 大型小売店          |
|       | 電気料金の上昇<br>ダブル台風の接近他 売上・利益に影響。                                                                                                                                                                                                                                                                              | 各種食料品小売業       |
|       | * 人手不足の影響が営業時間や定休日の見直しに表れてきた。                                                                                                                                                                                                                                                                               | その他の各種商品小売業    |
| サービス業 | 今後も物価高と金利上昇が続くものとして、経営環境の改善に取り組む予定                                                                                                                                                                                                                                                                          | 不動産賃貸・管理業      |
|       | 最近、関東での地震活動や火山活動も危惧される事からBCP対応の為の資金や行動計画の確認に常日頃から気を付けたい。<br>公共事業などの業状は概ね不変であるが、全体的なコストが上昇傾向にある事に注視しなければいけない。                                                                                                                                                                                                | 地質調査・地質コンサルタント |
|       | 相変わらず、資材や人件費の高騰により建築費値上がりが続いている。また住宅ローン金利の上昇により購入希望のお客様の動きが鈍い。                                                                                                                                                                                                                                              | 不動産管理業         |

## 調査要領

回答期間

令和8年6月15日 ～ 令和8年6月19日

調査対象

柏市内173事業所及び組合にヒアリング

<業種別回収状況>

| 調査産業 | 調査対象数 | 回答数 | 回収率   |
|------|-------|-----|-------|
| 全産業  | 173   | 59  | 34.1% |
| 建設   | 38    | 10  | 26.3% |
| 製造   | 44    | 14  | 31.8% |
| 卸・小売 | 46    | 19  | 41.3% |
| サービス | 45    | 16  | 35.6% |

調査方法と調査票

下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

| 質問事項              | 回答欄                |         |         |                         |         |         |
|-------------------|--------------------|---------|---------|-------------------------|---------|---------|
|                   | 前年同月と比較した<br>今月の水準 |         |         | 今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通し |         |         |
| a.売上高（出荷高）        | 1<br>増加            | 2<br>不変 | 3<br>減少 | 1<br>増加                 | 2<br>不変 | 3<br>減少 |
| b.採算<br>（経常利益ベース） | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                 | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |
| c.仕入単価            | 1<br>下落            | 2<br>不変 | 3<br>上昇 | 1<br>下落                 | 2<br>不変 | 3<br>上昇 |
| d.従業員             | 1<br>不足            | 2<br>適正 | 3<br>過剰 | 1<br>不足                 | 2<br>適正 | 3<br>過剰 |
| e.業況              | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                 | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |
| f.資金繰り            | 1<br>好転            | 2<br>不変 | 3<br>悪化 | 1<br>好転                 | 2<br>不変 | 3<br>悪化 |

質問B 業界内のトピック（記述式）

### ※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = （増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

### ※DI値と景気の概況

| DI ≥ 50                                                                                     | 50 > DI ≥ 25                                                                              | 25 > DI ≥ 0                                                                                 | 0 > DI ≥ ▲25                                                                                | ▲25 > DI                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特に好調<br> | 好調<br> | まあまあ<br> | 不振<br> | 極めて不振<br> |